

意味が同じなら違う言語でも似た発音になるのか:
音とイメージの相関性
永澤蒼弥

はじめに

リサーチクエスチョン:同じ意味なら違う言語の単語でも発音に一定の傾向がある。

言語学Bの講義に出てきたキキ・ブーバ効果
ように、音象徴と呼ばれる音によって同じイメージが想像できるという現象がある。したがって異なる言語でも同様に、イメージするものが同じなら発音も似たようなものになるのではないかと考えた。今回の実験ではこれを検証するため、様々な言語で同じ意味を持つ単語を調査した。

方法

「世界の言葉100語辞典アジア編・ヨーロッパ編」に記載されている計59言語のカタカナの各言語の単語の発音をもとに、日本語で「雨」、「死ぬ」という意味になる単語のどの文字、どの母音、どの行（子音）が多いかを集計した。今回集計する中で、「ヴぁ」のように小文字がつくものは「バ」のように置き換えている。ただし、「っ」のみはそのまま集計した。また、「ー（伸ばし棒）」はその前の字の母音の未集計し、子音は集計しなかった。

結果

今回の実験で、「雨」に関しては母音が「う」や「あ」の文字が極端に多く、ラ行やア行の文字が多く出ていることが分かった。また、「死ぬ」ではこの結果が少し変わっており、母音は「あ」の代わりに「え」が多くなっており、マ行が表1と比べて増えた。（マ行は10個で6位だった。）

結論：意味が同じなら違う言語でも似たような発音になる傾向がある。

表1 各言語の「雨」を意味する単語に出てくる発音の数をまとめた表
ラ行、ア行、サ行、バ行、ガ行の順に多かった。
また、「ん」「る」「ぐ」「い」「す」の順に文字が多かった。

雨	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ	ー	母音合計	ん
あ	7	0	5	2	1	0	3	3	7	3	0	5	2	6	0	7	51	15
い	8	1	3	2	0	2	1	0	4	0	0	1	0	2	1	2	27	っ
う	5	0	8	3	1	1	4	2	10	0	9	1	0	6	4	3	57	2
え	3	0	2	0	0	1	0	0	8	0	2	0	3	1	0	4	24	
お	2	0	0	3	0	2	2	1	3	0	0	0	2	1	0	3	19	
行合計	25	1	18	10	2	6	10	6	32	3	11	7	7	16	5	19	195	

表2 各言語の「死ぬ」を意味する単語に出てくる発音の数をまとめた表
ラ行、マ行、タ行、ア行、サ行の順に多かった。
また、「る」「い」「ま」「む」「ん」の順に文字が多かった。

死ぬ	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ	ー	母音合計	ん
あ	2	0	1	8	2	1	10	1	7	1	0	0	2	1	1	6	43	10
い	10	1	4	9	3	0	2	0	7	0	0	1	0	1	1	4	43	っ
う	8	4	7	3	3	2	10	0	28	0	0	0	1	3	3	3	75	6
え	2	0	3	5	2	1	7	0	6	0	1	1	4	4	6	7	49	
お	6	1	0	4	1	0	7	0	1	0	0	0	2	2	0	2	26	
行合計	28	6	15	29	11	4	36	1	49	1	1	2	9	11	11	22	252	

考察

リサーチクエスチョンに対する答えとして、特定の行や母音のみ多く出ることが結果から見られ、違う意味の単語で違う傾向が見られたことから、意味が同じなら違う言語でも似たような発音になる傾向があるということが分かった。また、「雨」は具体的な現象をさす言葉であるが、「死ぬ」に関してはかなり抽象的な概念であり、この二つは名詞と動詞という大きな違いがあるので、どのような単語でもこのように発音が似てくるとい傾向があることが分かった。

また、今回の集計の中でラ行とア行がかなり多く、特に「る」はかなり多い方だったので、もしかしたらすべての言語において、「る」という発音は使われることが多いのではないかという風なことが推論できる。

今回はリサーチクエスチョンからぶれるため行わなかったが、この結果として得られた各言語に共通して多い文字をつなげて「るぐいすん」のようにして雨と太陽の画像を提示しどちらをイメージしたかを問う問題を出せば、音象徴について新しく研究ができるのではないかと思った。

おわりに

今回の実験で、違う言語の同じ意味の単語は使われる発音もある程度傾向があり、「雨」では「ん」や「る」が多く、「死ぬ」では「る」や「い」が多く使われるということが明らかになった。

文献

石井米雄、 千野栄一編,世界の言葉100語辞典アジア編,三省堂,1999,[76,77,212,213P]
石井米雄、 千野栄一編,世界の言葉100語辞典ヨーロッパ編,三省堂,1999,[78,79, 218,219P]